

# 課税証明書(神戸市など政令指定都市以外)の所得割額の確認方法 (通知書等が手元にない方)

(様式例) ※様式は、市町によって異なります

市 民 税 ・ 県 民 税 課 税 額 証 明 書					
令和○年度	納税義務者	住所氏名	○○市○○町3-3 兵庫 太郎		
令和○年1月1日から 令和○年12月31日までの所得等の状況です。					
賦課期日(1月1日)住所		○○市○○町3-3			
所得内訳		所得控除内訳		扶養関係事項	
種類	金額(円)	種類	金額(円)	控除対象配偶者及び扶養親族数	1人
給与所得(給与収入金額)	¥*****	社会保険料控除	¥*****	控除対象配偶者(有・無)	有
年金にかかる雑所得(公的年金等収入)	¥0	生命保険料控除	¥*****	一般扶養数	0人
**以下余白**		**以下余白**		特定扶養数(同居老人)	0人
				老人扶養数	0人
課税標準額内訳		市民税		本	
種類	金額(円)	所得割	¥66,000	調整控除(市)	
課税総所得金額	¥*****	均等割	¥3,000	調整控除(県)	
**以下余白**		県民税	¥44,000	寄附金税額控除(市)	
		均等割	¥2,300	寄附金税額控除(県)	
		年税額	¥*****	16歳未満 2人	
				調整控除(市)	
				調整控除(県)	
				寄附金税額控除(市)	
				寄附金税額控除(県)	

「調整控除」や県民税の控除額、定額減税控除額は税額控除額に含めません

確認スタート ⇒

「市(町)民税」の「所得割額※」欄(★印)の金額が  
A:1円以上(円) B:0円  
※「税額控除前所得割額」と「(控除後)所得割額」の両方が記載されている場合は、「(控除後)所得割額」

A: →  
B: - - →

4~8月利用分は令和5年度、  
9~3月利用分は令和6年度の住民税で  
確認してください

「市(町)民税」の「均等割額」の欄の金額が  
A:1円以上 B:0円

住宅借入金等特別控除(住宅ローン控除)  
寄附金税額控除(ふるさと納税の寄附控除)  
などの税額控除を  
A:受けていない B:受けている  
(税額控除額0円)

非課税です

控除額の内訳欄 または 備考欄(例:☆印)に控除額の内訳が  
A:記載されている →市(町)の金額(円☆)  
B:記載されていない  
※「調整控除」の額、県民税の控除額、定額減税控除額は☆に含めない

市(町)民税所得割額★ + 税額控除額☆  
= (円)

証明書を発行した市町の税担当職員に控除額を聞き取って、申立書に記載してください。  
(金額: 円☆)  
※「調整控除」の額は☆に含めない

「申立書」の様式は[こちら](#)

配偶者控除◆の欄に  
A:「有」の印がある  
B:空欄 (配偶者特別控除は「B」へ)

「市(町)民税所得割額が分かる書類」は  
1人分でOKです(配偶者の所得割額は0円)

配偶者の「市(町)民税所得割額がわかる書類」  
を用意し、同様に所得割額を算出してください